

公共工事のあり方について

不良不適格業者の排除を

石原 正敬 議員
(未来塾/旧三重郡選出)

問

世間を騒がせている「談合」の反省として、一般競争入札制度を導入し、入札資格が緩和され、技術力のある業者かどうかではなく、入札金額の低い業者が落札者となる制度になりました。

入札制度を公平性・透明性の下、開かれたものにしたのであれば、落札した業務を下請けなどに丸投げしマージンだけを取るような業者や、建設業法違反を繰り返すような悪質な業者などの不良不適格業者の取り締まりも必要と思います。

三重県は発注者として、公共工事における不良不適格業者の排除をどのように行い、また、どのような点に留意しているのかお尋ねします。

答

不良不適格業者の放置は、建設業の健全な発展を阻害すると考えています。

このため、公共工事の入札・契約制度において、企業の技術力や施工実績などを参加資格とし、さらに総合評価落札方式を導入し拡大するなど、技術力と経営力に優れ、地域に貢献する企業が成長できる仕組みへと改善を進めています。

また、職員が工事現場に立ち入り、直接、調査・指導を行うとともに、下請け業者へのしわ寄せなどを防止するための制度の導入を検討するなど、不良不適格業者の排除に努めていきます。



○ 人への質問事項
他

漁業振興について

伊勢湾口地域に漁業振興予算の集中を

中村 勝 議員
(新政みえ/鳥羽市選出)

問

県の南北格差の解消、均衡ある県土づくりのため、伊勢志摩地域特に鳥羽市では、観光政策とともに、地域に活力をもたらす漁業振興が欠かせません。

豊かな漁業資源に恵まれた伊勢湾漁業政策を、「選択と集中」により、その一大拠点である伊勢湾口(鳥羽志摩地域)に集中させ、どこにも負けない、日本一の漁業関連産業を育てるべきであり、また、それだけの漁業資源や地の利を持っていると考えています。



伊勢湾口部

この地域における漁業の発展が集客交流につながる、地域の自立を図れると考えますが、知事のご所見を伺います。

伊勢湾口部では、多様な漁業が展開されており、漁業経営体数で県内の47%、漁業生産額で31%を占め、魚類の産卵・育成場としても重要な海域です。

県として、資源管理、種苗放流、離島漁業活性化対策、流通施設整備などを展開しており、平成18年度の水産関連予算の49%を占めています。

今後も、伊勢湾口部の特色を生かしつつ、安定的・意欲的な漁業活動が展開できるよう、担い手の確保、漁港漁場の整備、漁場環境の保全などに取り組んでいきます。

○ 伊勢湾の環境保全について
他

「ふるさとまつり三重」について

ご遷宮と併せた地域振興を

中川 正美 議員
(自民・無所属・公明議員団/旧伊勢市選出)

問

伊勢神宮の式年遷宮に向けたお木曳きなどの行事を通じて、さまざまな伝統などが見直されたと感じて、祭りやイベントの意義を再認識しました。

先日、「こころのふるさと三重」づくりをテーマとし、ご遷宮をチャンスととらえ、地域づくりに取り組み、その成果を生かしたイベントを展開すると説明がありました。

このイベントは県南部を中心に県全域で開催することですが、伝統と文化を培い、街道の起点でもあった伊勢の地が中心的な会場にふさわしいと考えます。また、イベントと式年遷宮の関係をどのように考えているのかお聞きします。



式年遷宮は、国を代表する伝統文化であり、今後、さまざまな行事が行われます。今回は、多彩なイベントを展開し、式年遷宮の諸行事に求められる方にも、「こころのふるさと三重」の魅力を楽しんでいただきたいと考えています。

三重には、魅力的な地域が多くあることから、会場は県内各地に設置されると思いますが、いろいろなことから勘案すると、中心的な会場は県南部地域が適当と考えています。なお、具体的な場所については、今後、検討し決めていきます。

○ 現代の社会問題について
他

伊賀地域の時間外救急について

地域救急医療体制の構築に県の積極的な関与を

北川 裕之 議員
(新政みえ/名張市選出)

問

伊賀地域における小児救急医療体制は、ここ数年の市、病院、医師会などの協力により整備が進められていますが、小児以外を対象とした一般の救急医療体制は、昨今の医師不足から、個々の病院では維持できず、地域の3病院による輪番制の検討が始められています。

しかし、心筋梗塞や脳卒中などの一刻を争う病状の場合や、名阪国道が渋滞などの場合、輪番制では搬送に時間を要することもあり、住民の不安が絶えません。救急医療体制の構築には、県も参画し、積極的に問題解決を図るべきだと思いますが、現在の協議の進捗状況についてお尋ねします。

答

伊賀地域では、初期・二次の小児救急医療体制が、ある程度整備されましたが、小児以外を対象とした救急医療体制についても、地域の3病院での輪番体制の検討などが行われています。

救急医療体制の整備は、基本的には市を中心として検討されるべき課題ですが、広域的な対応や地元医師会、関係病院などの意見調整に当たっては、県の果たすべき役割も大きいと考えています。



○ 伊賀地域と道州制について
他